

令和7年度 埼玉県中学校新人体育大会 兼 第38回県民総合スポーツ大会 中学校の部 大会要項

1. 主 催 埼玉県 埼玉県教育委員会 さいたま市教育委員会

2. 後 援 (公財)埼玉県スポーツ協会 熊谷市教育委員会

3. 主 管 埼玉県中学校体育連盟ソフトテニス専門部

4. 会 期 令和7年

第1日目	11月 2日(日)	女子個人戦	開 場	8:00	受付開始	8:10
			開始式	8:35	競技開始	8:50
			表彰式	競技終了後		
第2日目	11月 4日(火)	男子個人戦	開 場	8:00	受付開始	8:10
			開始式	8:35	競技開始	8:50
			表彰式	競技終了後		
第3日目	11月 6日(木)	女子団体戦	開 場	8:00	受付開始	8:10
			開始式	8:35	競技開始	8:50
			表彰式	競技終了後		
第4日目	11月 7日(金)	男子団体戦	開 場	8:00	受付開始	8:10
			開始式	8:35	競技開始	8:50
			表彰式	競技終了後		

5. 会 場 『熊谷スポーツ文化公園内 彩の国くまがやドーム多目的運動場』

6. 参加資格

- (1) 参加者は、埼玉県中学校体育連盟の中学校に在籍する生徒で、校長・クラブ責任者及び各地区専門員長が参加を認めた者とする。
- (2) 団体戦は、男女とも同一校(チーム)の選手6名以上8名以内(対戦の過半数を超える場合は可とする)と監督(当該校教員または部活動指導員等)1名で構成する。
- (3) 個人戦は、男女とも同一校(チーム)の選手2名と監督(当該校教員または部活動指導員)1で構成する。
- (4) 同一選手が団体戦及び個人戦を兼ねてもよい。
- (5) 参加資格の特例
 - ① 学校教育法134条(1条校以外)の各種学校在籍し、各地区中学校体育連盟の予選会に参加し、埼玉県中学校新人体育大会への参加資格を得た者。
 - ② 参加を希望する各種学校は、以下の条件を具備すること。
 - (ア) 埼玉県大会参加を認める条件
 - A) 埼玉県中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - B) 参加を希望する学校にあっては、学齢・修学年限が中学校と一致していること。
 - C) 運動部活動が学校教育の一環として、日常継続的に当該校顧問教員・部活動指導員等の指導のもとに、適切に行われていること。
 - (イ) 埼玉県大会に参加した場合に守るべき条件
 - A) 大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - B) 大会参加にあたっては、校長・クラブ責任者・教員・部活動指導員等が引率するとともに、万一事故の発生に備え、傷害保険等に参加するなど万全な事故対策を立てておくこと。
 - C) 大会に参加する経費は当該校が負担すること。
 - ③ 「埼玉県中学校体育大会への地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)の参加資格等の特例について」の条件を満たす者。

(6) 個人情報の取り扱い（利用目的）

大会の主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、(公財)日本中学校体育連盟「個人情報保護方針・規程」に基づき、取得する個人情報について適正に取り扱う。また、取得した個人情報は、競技大会の資格審査・競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成・ホームページ・掲示板・報道発表・記録発表（記録集）等、その他競技運営及び競技に必要な連絡等に利用することに同意する。大会に参加する各選手はこれに同意する。

7. 参加料

- (1) 参加登録選手一人につき、500円とする。
- (2) 参加申込以降の参加取り消しや不出場の場合、参加料の返金は行わない。

8. 引率者・監督および外部指導者

- (1) 参加生徒の引率・監督は、出場校の校長・クラブ責任者・教員・部活動指導員等とする。なお、部活動指導員等は、他校の引率者及び依頼監督になれない。
- (2) 本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員等、外部指導者（コーチ）、トレーナー等は、部活動指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であること。
- (3) 監督は1ペアまたは1チームに対し、出場校の校長・クラブ責任者・教員・部活動指導員等1名であること。ただし、個人戦に2ペア以上出場する学校の場合は、出場ペア数までの監督を置くことができる。この場合も出場校の校長・クラブ責任者・教員・部活動指導員等であること。

9. 競技方法

- (1) 個人戦：トーナメント
- (2) 団体戦：3ペア対抗トーナメント（4ペアエントリー）
- (3) 個人戦・団体戦ともにすべて7ゲームマッチ

10. 試合

- (1) 個人戦・・・トーナメントで決勝戦までおこなう。
- (2) 団体戦・・・トーナメントで決勝戦までおこなう。

11. 組み合わせ

- (1) 個人戦
 - ① 常任委員に一任とする。なお、常任委員会は、全国大会、関東大会、県大会2大会（学総大会・新人兼県民大会）の個人戦の結果をポイント化し、そのポイントを参考にして組み合わせを作成する。
 - ② 作成した組み合わせは、代表者会議10月14日（火）の3～6日後を目安に、中体連ソフトテニス専門部のホームページで発表する。

<http://www.saitama-chuutai-softtennis.com/>

(2) 団体戦

- ① 常任委員会で8校までをシードし、他は抽選とする。
- ② ただし、同一地区から2校以上出場している場合は、同一ブロックに入らないように配慮する。

12. 試合球 使用球は公認球（白）を使用する。

13. 表彰

(1) 団体戦

- ① 優勝校には、優勝旗（持ち回り）、優勝杯（持ち回り）、賞状を授与する。
- ② 準優勝校には、準優勝楯（持ち回り）、賞状を授与する。
- ③ 第3位【2校】には、賞状を授与する。

(2) 個人戦

- ① 優勝ペアには、優勝杯（持ち回り）、賞状を授与する。
- ② 準優勝ペアには、準優勝楯（持ち回り）、賞状を授与する。
- ③ 第3位ペア【2校】には、賞状を授与する。

14. そ の 他

- (1) 本大会に参加するにあたり、必ず保護者の同意を得ていること。
- (2) 開会式前、会場コートでの練習は一切ありません。また、開場時刻まで、会場に入るための整列待機に協力いただきます。
- (3) 駐車場などの会場周辺でのボールを使用しての練習は一切できません。
- (4) くまがやドームは、役員・補助員の生徒以外の方は、開場前に入場しないでください。
- (5) 交通事情等で当日遅れる場合等は、委員長もしくは副委員長に連絡して下さい。
- (6) くまがやドームの入場の際は、危険防止の為、到着した順に整列し、役員の指示に従って入場してください。

☆大会出場規定☆

1. 大会出場に際して、保護者の同意を得ていること。
2. 大会当日の受付は、必ず監督が行う。（外部コーチがいる場合は、大会参加申し込み用紙に明記する）
 - (1) 受付場所は、4・5コート内とする。当日役員の指示に従ってください。
 - (2) 状況に応じて提出が必要な書類
 - ・「大会出場規定 NO.6」に該当する場合。 ※HP 参照
3. 監督は当該校の教員・クラブ責任者・外部指導者・部活動指導員等のうち1名とする。
4. 団体戦のベンチに入る監督（自チームNo.のもの）又は外部指導者（通しNo.のもの）は、受付時にIDカードを受け取り、会場内では常に着用し、必ず返却すること。
5. 個人戦のベンチに入る監督として、2ペア以上の出場に対応するために教員・クラブ責任者の人数を追加する場合は、「**追加監督届け**」を当日の受付に提出すること。なお、必ずIDカードを着用すること。
6. 変更・追加等書類提出について
 - (1) 変更・追加届について、職印が必要です。
 - (2) 当日の朝、怪我・体調不良等の理由で選手変更をする場合は、緊急措置対応として**職印の無いもの**を提出し、後日速やかに職印のあるものを提出する。
（選手変更・監督変更届・監督追加届・外部指導者変更及び登録届はHPにアップしてあるものをダウンロードしてご利用いただくと便利です）
7. 開始式に参加しない選手は、原則として出場を認めない。
 - ・交通事情により遅れそうな場合は、緊急連絡先に必ず電話連絡する。
8. 規定のゼッケンを選手は背中に、監督及びコーチ・外部指導員はIDを着用すること。
9. 県名、学校名、個人名の入ったゼッケン（3段）を必ず背中につけること。無い場合は、原則として出場を認めない。
10. 服装について（競技中および開会式・閉会式では次のとおりとする）
 - (1) ユニフォームについて、上は半袖ゲームシャツ、下は膝より上のパンツ・スカートを着用すること。競技中、シャツを出すことや袖をまくることはしない。また、ユニフォームには文言や記号を後から記入もしくは印刷し、使用してはいけない。
 - (2) ソックスの長さについては、くるぶしより上で、シューズを履いた状態でどこから見ても履いていることがわかる長さとする。ハイソックスは認めない。
 - (3) テニスシューズを着用する。靴や靴紐の左右を色違いにするなどは認めない。
 - (4) ボールホルダーの着用は認める。ただし、ボールホルダーに装飾品を着用することは認めない。
 - (5) ミサンガや磁気ネックレスなどの装飾品を身につけての出場は禁止する。
 - (6) 特別な医療用具（サングラス等）のみ、所定の医療用具使用届を必ず提出する。
 - ※ サポーター、テーピング、長袖アンダーシャツやスパッツの使用を認める。アンダーシャツ等の色は単色、ハチマキは単色無地、サポーター・テーピング類は単色とする。上記にあたる場合、医療用具使用届の提出はなし。
 - (7) 使用する用具は服装と同様に華美にならないようにする。服装・用具において、ラメ入り、リボン、フリルなどの装飾付きのものは華美とみなす。
 - (8) 選手の腕時計着用は認めない。
11. ベンチコーチは、奇数ゲームの後と最終ゲームの前に1分以内で行うことができる。
 - (1) この場合、前のゲームのボールがデッドになってから次のゲームが始まるまでの1分である。
 - (2) その他の場面などで、ブロックサインによる指示は厳禁とする。
12. 監督は、必ずテニスシューズを履き、上下ともスポーツウェアを着用する。

13. 選手・監督・生徒応援・保護者とも試合中相手をやじることは厳禁とする。
 - ・団体戦のベンチにおいて、アップのためにベンチを離れて立っている選手は応援に参加してはならない。立って一斉応援に参加していたら、1回目はアンパイヤーからの注意、2回目はイエローカードの提示で警告となる。
14. 選手、生徒応援者等のマナー・生活面については、その学校の教員・クラブ責任者・外部指導者・部活動指導員等が責任を持って指導すること。
15. 進行の都合上、団体戦（初戦からの場合も含む）が2・3面展開となることがある。
16. その他、本部の指示に従うこと。

☆競技上の諸注意☆

1. 競技は(公財)日本ソフトテニス連盟「ソフトテニスハンドブック」及び大会要項・大会出場規定に従って行う。マッチは7ゲームとする。借用時間などの状況により5ゲームとする場合もある。
2. コート割及び進行は別表のとおりとするが、本部の判断で変更をすることがあるので、放送には十分注意する。
3. 選手及び監督は、アンパイヤーの指示に従う。選手はマッチの開始から終了まで連続的にプレーする。
4. 選手及び監督は、お互いにマナーを尊重し、過度のかけ声または相手を不快にする発声をしない。
5. 審判のコールの後からポイントが決定するまでの間、発声及び拍手等による応援は禁止する。
6. 異議の申し立ては選手・監督またはコーチともにできない。ただし、質問する事を妨げるものではない。
7. 使用球は公認球（白）を使用する。
 - 個人戦：ナガセケンコー（ケンコーボール）
 - 団体戦：ルーセント（アカエム）
8. マッチ中のコートにおいて
 - (1) 個人戦は監督またはコーチ1名のベンチ入りを認める。ただし、2ペア以上出場している学校はそれぞれのペアに対し1名の監督またはコーチのベンチ入りを認める。**(教員または外部指導者による追加監督の許可を得ている場合)**また、追加監督はマッチごとに交代することは認める。
 - (2) 団体戦は監督またはコーチ1名のベンチ入りを認める。
 - (3) ベンチは番号の若いチームが両サイドのスタンド側とする。
 - (4) マッチ中の助言は、チェンジサイズ及びファイナルゲームに入る前に所定のベンチで行うことができる。ただし、前のゲーム終了から1分以内に次のゲームを開始する態勢に入るものとする。また、身体上の手当についても選手、監督またはコーチともに認める。
9. 個人戦について
 - (1) トスはマッチごとに、コート上で行う。
 - (2) マッチ開始前の呼び出しは原則として行わないので進行には十分注意する。前のマッチの終了後5分経過しても集合しない場合は、集合の通告（放送）を行う。通告後5分経過で警告1回、10分経過で警告2回とする。
 - (3) 監督のベンチ入りは1マッチ1回のみとしてマッチ途中でベンチから出た場合、再びベンチに戻ることは認めない。
 - (4) コートへの入場時に、監督が他のコートにおいて同校（チーム）のペアがマッチ中のため入場できないときは、マッチ途中からのベンチ入りを認める。
 - (5) 監督はコート内では指定されたベンチに着席し、マッチ中の監督交代は認められない。
 - (6) 選手は監督の助言を受けるために、他のコートに移動してはいけない。
10. 団体戦について
 - (1) トスは、マッチごとにコート上で行う。
 - (2) 3ペアの点取り法による対抗戦とする。2回戦以降は2点先取とし、勝敗がついた時点で省略ゲームとする。ただし、両校どちらかが初戦の対戦は、勝敗にかかわらず3ペアマッチを行う。
 - (3) 各コート1試合目のオーダー提出は、受付終了後監督がオーダー提出所に提出する。2試合目以降は、1試合目の開始後、対戦相手が決まり次第、速やかに両サイド本部に提出する。
登録名と同一でフルネームで記入する。3ペア記入する。
 - (4) マッチ開始前の呼び出しは原則として行わないので進行には十分注意する。それ以降はオーダーの提出後、準備が整い次第マッチを開始する。試合準備が整い、5分経過しても集合しない場合は、集合の通告（放送）を行う。通告後5分経過で警告1回、10分経過で警告2回とする。
 - (5) 大会運営上、2・3面展開等で行うこともある。この時も、監督またはコーチは1名とする。

(6) 選手及び監督またはコーチは、コート内では指定されたベンチに着席する。ただし、次の試合の選手がウォーミングアップのためにベンチの横で身体を動かす程度は認める。

11. ネットに関する特別ルールについて

くまがやドームのネットには、下に円柱のパイプがあります。パイプはネットの一部というルールですので「ノーバウンド」で当たったボールが跳ね上がって反対側に落ちた場合は「ネットイン」とおなじ扱いになります。プレーヤーの足が触れた場合「ネットタッチ」となります。ネットポストを支える角柱のパイプは地面と考えるので、ボールが直球で触れた場合「アウト」となります。

12. 応援・観戦について

- (1) うちわは応援グッズとして手拍子などに使用しない。
- (2) 1～8コート側の応援は、2階から行う。1階の通路については、次戦の選手及び監督のみ待機可とする。一般の方がトレーニング室を利用するため、待機する場所を配慮する。
- (3) 9～16コート側の応援は、スタンド席・スタンド席前の通路は、応援生徒・学校職員等で使用し、保護者は、手すり後方からの観戦となる。

13. ベンチの持ち物について

- ・自席ベンチに、充電・電池式で稼働する扇風機等は持ち込まない。

14. 動画の撮影について

- (1) 両側通路からのみ撮影可とし、各ベンチからの動画撮影は禁止とする。
- (2) 顧問の先生・保護者等が、観戦席から撮影した動画を勝手に SNS 等にアップしない。

☆審判について☆

1. 個人戦について

- (1) 各コートの第1試合の審判は、第3試合以降の試合の監督に依頼する。大会受付の時に確認する。
- (2) 監督は、必ず審判をできるようにしておく。監督が、当日どうしても引率できず、ソフトテニス部以外の教師が引率の場合は、審判を免除する場合があります。その際は、代表者会議当日に必ず本部に申し出ること。 ※審判ができない場合は、原則、代表となった地区で替わりの審判を出す。
- (3) 1校で2ペア以上が大会に出場する場合は、監督ができるよう配慮する。
- (4) 準決勝、決勝は、常任委員が審判を行う。

2. 団体戦について

- (1) 監督審判で行う。副審は生徒で行う。
- (2) 監督は、必ず審判をできるようにしておく。監督が、当日どうしても引率できず、ソフトテニス部以外の教師が引率の場合は、審判を免除する場合があります。その際は、代表者会議当日に必ず本部に申し出ること。 ※審判ができない場合は、原則、代表となった地区で替わりの審判を出す。
- (3) 決勝は、正審、副審とも常任委員が行う。

3. 個人戦・団体戦共通

- (1) 生徒が「ジュニア審判員」を取得している場合は、監督審判を免除することができる。その際は、必ずワッペンを左胸に付けること。
- (2) 審判台にストップウォッチがあるので、必ず使用すること。
- (3) 電子ホイッスル・イエローカードを置きます。必要な場合は使用すること。
 - ① 45秒で1回目のホイッスルを鳴らし、1分で2回目のホイッスルを鳴らす。
 - ② 2回目のホイッスルを鳴らしても選手がコートに入らない場合は、イエローカードを出す。

☆ゼッケンについて☆

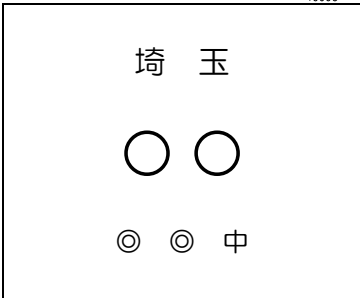
背中のゼッケンを各校で別な布などで作成し、背中に四隅を止めること。すでにプリントされている文字は隠すように止め付けるものとする。学校名には「中」の文字をつけることを原則とする。

- ① ゼッケンはB5版横（白地）の大きさの布に都県名、姓、学校名を記述する。都県名の「都県」はつけないものとする。
- ② ゼッケンの文字は特太ゴシックが望ましい。「漢字」「ひらがな」「カタカナ」を使用し、文字色は「黒」とする。シャツそのものへのプリントは認めない。
- ③ 都県内で同名の中学校がある場合には、区別をするために工夫をしてもよい。都県ごとに望ましい表記をする。
- ④ ゼッケンの文字の位置は《例1》どおりとし、同一校に同姓の選手がいる場合には、名前の一文字を付け加える。
- ⑤ 中学校名が、第一・第二中学校や東・西・南・北中学校のような場合には、学校名をわかりやすくするために、《例2》のように学校所在地を付記してもよい。

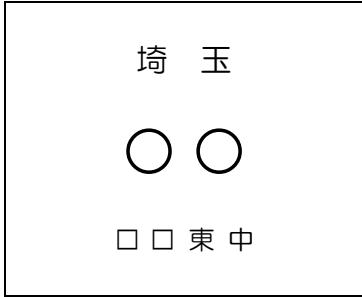
【選手のゼッケン】

B5版 白の台布に黒文字で記入（特太ゴシック体が望ましい）

《例1》 埼玉県 □□市立◎◎中学校 ○○ ○○

18cm		フォント 120	県名（県は不要）
		フォント 200	姓（苗字）
		フォント 100	中学校名 （「◎◎中」または「○○中学校」とする）
26cm			

《例2》 埼玉県 □□市立東中学校 ○○ ○○

18cm		フォント 120	県名（県は不要）
		フォント 200	姓（苗字）
		フォント 100	中学校名 （「□□東中」または「□□東中学校」とする）
26cm			

※文字数が多い場合は、見やすい範囲でポイント数を調整してください。

☆緊急対応について☆

ホームページ <http://www.saitama-chuutai-softtennis.com/>

に掲載されている

「危機対応マニュアル（中体連ソフトテニス専門部用）」をご覧ください。

彩の国くまがやドーム 利用について

県中体連ソフトテニス専門部

1. 所在地 〒360-0004 埼玉県熊谷市上川上 300
2. 開場時間 8:00～ (指示があるまでは館内に入らないでください)

3. 交通

① 鉄道利用の場合(熊谷駅北口より)

(1) 国際十王交通バス3番乗り場

【くまがやドーム行き】乗車→【くまがやドーム】下車
 ※くまがやドームまで徒歩2分 陸上競技場まで徒歩4分

(2) 国際十王交通バス2番乗り場

【犬塚行き】乗車→【陸上競技場入口】下車
 ※くまがやドームまで徒歩9分

【くまがやドーム行き 熊谷駅北口発バス時刻表】

月～金		土・日・祝	
7時	30 55	7時	20 40
8時	30	8時	5 30
9時	0 55	9時	0 40

※詳しくは、国際十王交通ホームページ等で随時確認してください。





② 自家用車・バス利用の場合

I. 関越高速道路（下り線利用）の場合

- 東松山インター下車・熊谷方面へ→熊谷・東松山道路を熊谷方面へ→熊谷大橋を渡り右折→熊谷警察署前をそのまま群馬方面へ→「代」の信号を右折→17号バイパスを大宮方面へそのまま進行「肥塚」もしくは「上之北」信号左折。

※以降は案内標識あり

II. 国道17号（下り線）利用の場合

- 17号バイパス（熊谷市街北側）を進行→「上之北」もしくは「肥塚」信号を右折。そこから約700m。

※バイパス及び各交差点に案内標識あり



4. 公園内利用について

① 駐車場は約 2,800 台（常設約：1,400 台、臨時約：1,400 台）駐車スペースはあります。

以下（ア）～（エ）の注意事項をしっかりとってください。

（ア）バス（含むマイクロ）は第7駐車場に駐車してください。

（イ）自家用車は第6駐車場に駐車してください。

（ウ）駐車スペース以外には、車を駐車することはご遠慮ください。また、空いている駐車スペースに、シート・椅子等を置いて場所取りもご遠慮ください。

（エ）バス停・身障者用スペースには駐車しないでください。

（オ）場内は一方通行になっている部分がたくさんあります。矢印案内に従って進行してください。

（逆走禁止）

② 駐輪場・指定駐輪場への駐輪をお願いします。盗難防止のためにも、必ずカギをかけてください。

③ その他・陸上競技場・補助競技場・投てき練習場等へは無断で入らないでください。また、中学生が子供用の遊具などで遊んでいることのないようにお願いします。



5. ドーム内利用について

A：ドーム内について

- ① 館内は、土足のまま入場できます。（体育館側は、上履きに履き替えることになります。しかし、県大会においては利用しませんので、体育館への入館はしないでください）
- ② トイレは東側観客席部分、及び更衣室隣にあります。
- ③ 更衣室の使用は遠慮してください。シャワーは有料となっておりますので、そちらへの入室もしないでください。

B：コートについて

- ① コートは人工芝です。テニスシューズ以外では入らないでください。
- ② 通路とコートの区切りは、ネットで仕切られています。通常のテニスコートと同じように、選手以外は人工芝部分への入場を禁止します。
- ③ コートを仕切るネット、及び支柱には寄りかからないでください。同様に、通路とコートを仕切るネットにもぶら下がったりしないでください。
- ④ 中央仕切部分のネットは通り抜けしないでください。必ず両サイドのベースライン側からの入退場とします。通路側からは、ネットの重なっている場所から入場します。
- ⑤ 館内には、横断幕等を掲げることを禁止します。
- ⑥ コート部分（人工芝部分）では飲食禁止です。
- ⑦ コートから退出する際には、マット等で砂を落として通路に出るようお願いします。

C：使用上の注意

- ① 2階スタンド部分は、大会時開放します。荷物を置く場所として使用してください。飲食をする場合はゴミの片づけを含めて汚さないようにしてください。なお、フェンス付近は応援・見学の場所になりますので、荷物等を置かないでください。
 - ② その他飲食場所は、東側観客席部分及びその後方（ベンチが設置してある部分とその後方）および、屋外となります。
 - ③ ボールを使った練習は会場では禁止です。周辺通路及び駐車場等でも一切できません
 - ④ ゴミは全て持ち帰りとなっています。館内及び公園内には捨てないようにしてください。（保護者への指導もお願いします）
 - ⑤ 館内にテーブル等の持ち込みはしないでください。ドーム周囲にベンチをとるのは構いません。（入り口及び開放される窓部分は禁止）
 - ⑥ 本部前通路部分には荷物等は置かないでください。試合中の生徒及び次の試合の生徒のみ立ち入り認めます。（保護者の通路立ち入りは禁止します）
- ※その他、陸上競技場等で大会が行われる場合は、別に指示をします。本部及び公園側の指示に従ってください。

D：朝の受付について

- ① 開場開始後、準備が完了次第放送にてご案内させていただきます。
- ② 受付場所は、コート内(4・5コート)にて行います。(状況により変更の場合あり)

E：試合進行の注意

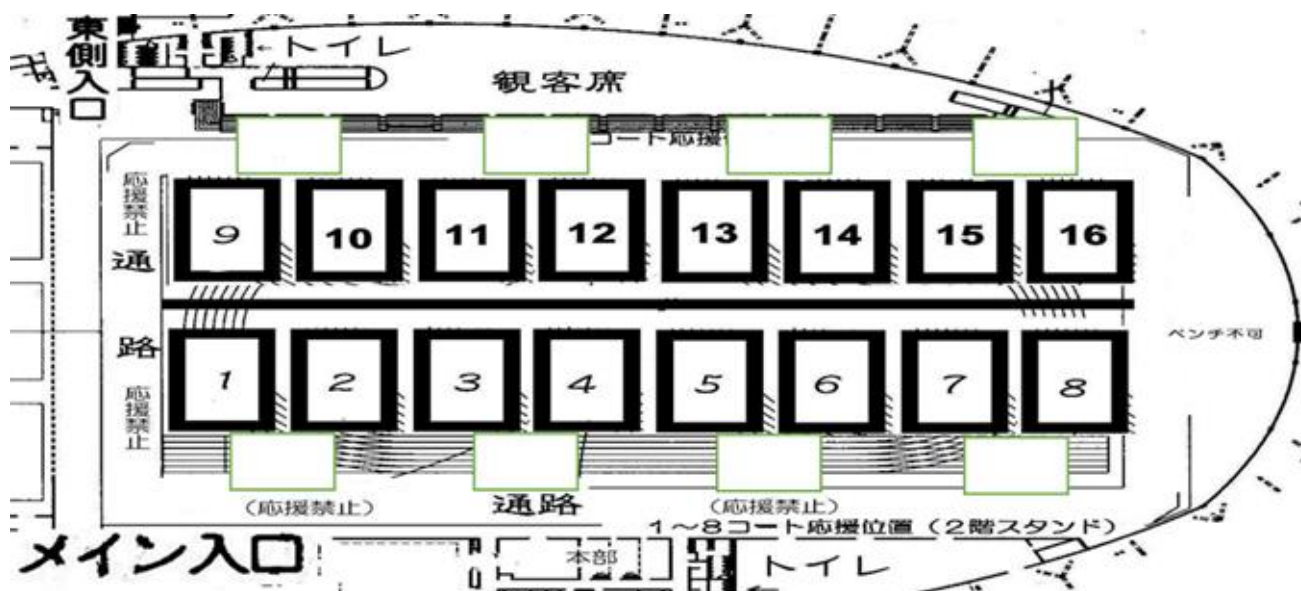
- ① 人工芝部分には、選手・監督のみ、立ち入りを認めます。応援生徒・保護者は入らないでください。
- ② 応援の生徒については、
1コート～ 8コートは、2階から
9コート～16コートは、東側観客席前通路部分から
- ③ 対戦両チーム並んでの応援となります。センターライン延長線上で、番号が小さい学校が左側、番号が大きい学校が右側に分かれての応援にご協力をお願いします。
- ④ 通路（北側通路・西側通路）やスタンド手すり付近、2階手すり付近には、荷物を置かないようにしてください。
- ⑤ 本部は、西側控え室（事務所並び）となります。ただし、関係者以外の立ち入りはご遠慮ください。

- ⑥ ベンチは、「番号が小さい学校」が両サイド通路・スタンド側とします。「番号が大きい学校」が中央ネット側とします。
- ⑦ コート上での選手の水分補給について人工芝部分については、「水」のみ持ち込みは、認められます。ミネラルウォーター・お茶・氷水等に限りです。コート内ベンチ付近で飲むようにお願いします。スポーツドリンク類は、広場がベタつく可能性がありますので、人工芝内では、絶対にやめてください。今後の大会での利用に問題が出ないようにご協力をお願いします。
- ⑧ 対戦終了後、速やかにコートを出る。相手チームへのあいさつ、チーム（選手）へのコーチングは、コート内では行わないでください。

F：その他重要なお願い

- ① 公園内でのボールを使った練習は一切できません。駐車場も同様です。特に壁打ち等は絶対に止めてください。ドームには、大会中も一般の人が自由に入出入りします。駐車場車中も含め貴重品の管理には各自で充分ご注意ください。
- ② 大会当日は、**整列入場**をお願いしております。両方の入口とも、役員の指示に従って、整列して入場してください。（入口付近での混乱、怪我を避けるため）

ドーム内配置図



県大会観戦に関するお願い（保護者様向け）

平素から埼玉県中体連ソフトテニス専門部の活動にご理解、ご協力を賜り御礼申し上げます。
さて、最近ではどの競技においても「観戦マナー」について話題になります。ソフトテニス専門部でも「マナー向上」に努めています。つきましては、以下のことについてお願い申し上げます。

1. 会場（くまがやドーム）使用に関するお願い

- (1) 朝7：30に解錠し、中に入るのは常任委員・補助役員のみです。その際、一緒に入り場所取りをすることはできません。8：00の開場まで所定の場所に並んでお入りください。ドーム内のコンセントは無許可で使用できません。（充電や電気ポットの電源など）
- (2) フラッシュ撮影はプレーの妨げになるため禁止です。
- (3) 1～8コートの1階通路は、立ち入れません。
- (4) ドーム内の荷物置き場は本部の指示に従ってください。（フェンス沿いに置かない）
- (5) 荷物置き場として多目的運動場周囲は使用できます。体育館の周りは他競技のエリアになります。絶対荷物置き場を作らないでください。
- (6) 体育館には立ち入らないでください。（トイレも使用しないでください）
- (7) 1～8コートの保護者観戦エリアは、2階スタンドからになります。手すり付近の地面に、観戦エリアを指定しますので、指定されたエリアから観戦してください。該当の試合が終了次第、速やかに移動をお願いいたします。手すりに手をかけると非常に危険ですのでおやめください。また、水筒等の落下物が見受けられます。十分注意してください。
- (8) 9～16コートの保護者観戦エリアは、スタンドの上に設置されている手すりより後方地面に、観戦エリアを指定しますので、指定されたエリアから観戦してください。該当の試合が終了次第、速やかに移動をお願いいたします。
- (9) **対戦両チーム並んでの応援**となります。センターライン延長線上で、**番号の小さい学校が左側、番号の大きい学校が右側**に分かれての応援にご協力をお願いします。
- (10) **保護者様の応援は拍手のみ**。発声応援は不可となります。
- (11) うちわは応援グッズとして手拍子などに使用しないでください。

2. その他

- アドバイスと受け取られるような声かけは、注意及び会場よりご退場していただきます。
- 直接本部に異議の申し立てはできません。その他競技に関する質問がある場合は各校（各チーム）の顧問及び責任者を通してお願いします。
- 個人で撮影した動画は、勝手にSNS等アップしないことを厳守してください。
- その他、本部からの指示に従ってください。

県大会参加に関する注意事項（外部指導者向け）

本大会は埼玉県教育委員会、埼玉県中体連の諸規定・細則に則り学校長・クラブ責任者の承認をもって参加が認められ開催されます。よって義務教育学校体育の枠の中で、健全・安全に行われるようご協力をお願いいたします。また、競技は日本ソフトテニス連盟のハンドブックによりますが、その他大会要項および本部の指示に従っていただくことをあらかじめご了解ください。

1. 資格について

外部指導者については必ず学校長・クラブ責任者の承認を得ている方のみがベンチに入ってください。試合後に規定外の外部指導者であったことが判明した場合、学校長・クラブ責任者に連絡の上その試合を失格とする場合もあります。また、必ず外部コーチのＩＤカードを着用してください。ない場合は外部指導者として認められません。

- (1) 大会要項「8、引率者・監督および外部指導者」(2)に該当しない者
- (2) 埼玉県中学校体育連盟、県ソフトテニス専門部が提示する「大会参加に際してのガイドライン」を同意していること。

2. 服装等について

原則、監督・選手に準じます。それ以外での服装でのコート入りはご遠慮ください。また、以下のことについては教育上、固くお断りいたします。

- ① 袖まくり
- ② 腰パン

3. 競技について

- (1) 試合前の乱打後「レディ」がかかってからのアドバイス、声かけは警告になります。
- (2) 試合中のアドバイスは禁止です。
※チェンジサイズ時のアドバイスのみでお願いします。
※ポイントごとに声をかけることはできません。
- (3) ベンチコーチは所定のベンチで座ったままお願いします。
- (4) 電子機器の使用（携帯、スマートフォン、タブレット）はできません。
- (5) ブロックサインは禁止です。試合中のアドバイスになります。疑わしい行為がある場合はベンチ入りをご遠慮いただきます。
- (6) 試合の流れを変えるため意図的に「タイム」を取ることは禁止です。「タイム」は原則として選手から申し出ることとします。
- (7) ベンチ入りしていない場合もコートの外からのブロックサイン、アドバイスはできません。フェンス・ネットの外からのサイドコーチも一切認められません。

4. その他

- 試合後直接本部に異議の申し立てはできません。質問がある場合も各校（各チーム）の顧問及び責任者を通してお願いします。
- その他本部からの指示に従ってください。